

インパクトレポート・ブック 要約版

長野県とESGの関わり

- グリーンボンドの発行を通じ、県内のESG債への投資・発行を促す一助となることに加え、SDGsの「6：安全な水とトイレを世界中に」、「7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「13：気候変動に具体的な対策を」、「15：陸の豊かさを守ろう」、についての達成に貢献するものと考えます



グリーンボンド発行までの流れ

時期	出来事
2019年10月	■ 令和元年東日本台風で県内各地に甚大な被害
2019年12月	■ 「気候非常事態宣言-2050ゼロカーボンへの決意」を发出
2020年4月	■ 「長野県気候危機突破方針」を策定
2020年10月	■ グリーンボンド（10年債）を発行 ■ 30名の投資家による投資表明を獲得

具体的な資金充当事業の一例



小水力発電所の設置



地域鉄道の車両更新補助



長野県立美術館本館建替



信号機LED化



気候変動への適応

令和2年度グリーンボンドの発行概要

長野県 令和2年度第2回公募公債（グリーンボンド(10年)）			
発行日	2020年10月16日	発行額	50億円
利払日	毎年4月・10月の16日	利率	0.140%
償還日	2030年10月16日	評価機関	JCR（評価:Green1）

令和2年度グリーンボンドに係るレポートイング

- 2050年度にCO2排出量実質ゼロの達成と、自然災害による被害の緩和を実現するために、以下の事業に50億円を充当しました

プロジェクト分類	対象事業	充当金額 (百万円)
再生可能エネルギー	■ 小水力発電所の設置	■ 510
クリーン輸送	■ 地域鉄道事業者（しなの鉄道）の車両更新に対する補助	■ 200
エネルギー効率	■ 県有施設・設備の更新 空調設備の更新、照明のLED化等 ■ 県有施設の新築・全面改築	■ 1,489
気候変動への適応	■ 交通インフラ整備 道路防災事業（法面工事）等	■ 20
	■ 水害対策のための河川改修 （拡幅や掘削工事） ■ 砂防、治山、地すべり、急傾斜地崩壊対策	■ 1,000 ■ 1,756
生物自然資源 及び土地利用に係る 環境持続型管理	■ 信州の森林づくり事業（林道の整備）	■ 25